

# 安心・安全な教育環境の実現

## ～トイレ改修～

全国的な課題として公立学校の多くが施設の老朽化に直面しているという事実があります。本校も施設面では恵まれている部分が多いのですが、日々、日常生活の中で誰もが使用するトイレの老朽化及び和式であるという大きな課題がありました。ある自治体の公表されているアンケートによると和式トイレの学校ではトイレに行くのを「我慢していた」「たまに我慢していた」という生徒が過半数を超えているという結果が出ています。本校では特にアンケートはとっていませんが、おそらくそういう生徒が多くいたことは想像に難くありません。

ようやくこの夏休みに生徒の教室がある**本館3階、4階、5階の東側、西側のトイレ全てにおいて洋式化、及び手洗いの自動水栓**に関する**改修工事が終了**しました。

トイレ改修の効果を実感しているある自治体によると、トイレを我慢すること等による体調不良の生徒が減ったといった**健康改善**、自動水栓により生徒が手洗いをこまめにするようになり、蛇口に触れる必要がないため感染予防にもつながるなどの**衛生面の向上**の2点をあげておられます。

本校でもようやくトイレに関する課題が解消されました。さらなる、安心・安全な教育環境の実現を目指していきたいと思います。

